

【学校教育目標】知・徳・体の調和がとれ、主体的・協働的に行動できる子どもの育成



学校だより

鈴鹿市立愛宕小学校

令和5年5月24日

No. 5

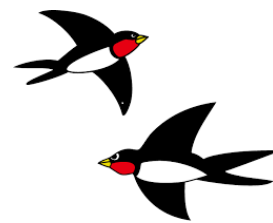


5月2日 楽しかったよ！遠足

当日は汗ばむほどの晴天に恵まれました。低・高学年のペア学年で出発！道中は、高学年児童が低学年児童の安全を気遣いながら歩いている様子が見られ、高学年としての自覚を養う機会にもなりました。目的地に着くと、子どもたちは、思いっきり体を動かし、思い思いの遊びを楽しんでいました。また、青空の下で食べるお弁当は格別ですね。みんな、おいしそうに食べていました。

【1・6年：サンスポーツランド】

1年生と6年生が手をつないで、鬼ごっこ



【2・4年：御座池公園】



お弁当タイムは、格別です！

【3・5年：桜島公園】



◆5月9日(火)～ 読み聞かせボランティア様による読み聞かせがスタート！

事前に「マチコミ」等を通して、読み聞かせボランティア様にご協力をお願いをさせていただきましたところ、今年度も多くの方々に読み聞かせをしていただくことができ、大変嬉しく思っています。この日は、1・2・4年生の全クラスに入り、朝の学習の時間に読み聞かせをしていただきました。

読書は、「豊かな言葉に触れ、言語力が養われる」「集中力が身につく」「お話の世界を楽しむことで、想像力や感性が育まれる」等、児童期の発達過程において、よい影響を及ぼします。温かい雰囲気ですchool生活の一日がスタートしました。



◆5月10日(水) 田植えをしました(5年生)

5年生が4月18日に種もみまきをし、その後三田様(愛宕地区で農業を営んでみえる方)のビニルハウスで育てていただいた苗を植えました。初めて田植え体験をした子がほとんどのようでしたが、子どもたちは泥んこになりながらとても楽しそうに取り組んでいました。

三田様はじめ、地域の方々、学校運営協議会関係の皆様、地域づくり協議会の方々、公民館長様、学習支援ボランティアの方々には、リヤカーでの荷物運びや子どもたちの作業の見守り、後片付けまで、大変お世話になりました。お陰様で、このような大変貴重な体験ができました。本当にありがとうございました。



◆5月8日(月) 教師による地域のフィールドワーク

昨年度から、本校では「主体的に問いをもち、対話を通して考えを深め合う子どもの育成～社会科・生活科を通して～」という主題を掲げ、社会科・生活科の授業研究に取り組んでいます。特に、身近な地域教材を扱い、様々な「ひと・もの・こと」と直接出会うことで、社会科や生活科の学習につながるような問いを見つけ、そこから意欲的な学びに深めていくのではないかと考えています。

現在、三重大学教職大学院の石井さんが本校で教育実習中ですが、彼も地域教材を扱った授業のあり方を学修テーマにしており、愛宕地域の文化・歴史・自然を中心に教材化できるものはないか研究に取り組んでいます。

そこで、愛宕小の教職員も授業づくりのヒントを見つけるために、これまで石井さんが発掘した愛宕地域の様々な学習材を石井さんの案内で巡りました。地域を徒歩でじっくり歩いてみると、これまで気づかなかった愛宕の素晴らしさを再認識することができました。

是非、授業の中で子どもたちにも、地域の良さを再発見してほしいと思います。

